

ほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験

要 約

シヨウキ T-1 PLUS (タンポポ茶)について染色体異常誘発性を調べる目的で、「新規化学物質等に係る試験の方法について」(平成15年11月21日 薬食発第1121002号, 平成15・11・13製局第2号, 環保企発第031121002号)に従い, チャイニーズ・ハムスター肺線維芽細胞(CHL/IU)を用いて, 染色体異常試験を実施した。

検体について, 短時間処理法及び連続処理法のいずれの場合も, 1.25, 2.5及び5 mg/mLの3用量で試験を行った。その結果, 染色体構造異常を持つ細胞の出現頻度及び染色体の数的異常(倍数性)を持つ細胞の出現頻度は, いずれも5 %未満であった。

以上のことから, 本試験条件下における検体の染色体異常誘発性は陰性と結論した。

依 頼 者

株式会社 徳潤

検 体

シヨウキ T-1 PLUS (タンポポ茶)

試験実施期間

平成19年5月4日～平成19年7月25日

試験実施場所

財団法人 日本食品分析センター 千歳研究所
北海道千歳市文京2丁目3番

試験責任者

財団法人 日本食品分析センター 千歳研究所
安全性試験部 生物科学課
中尾 亮介

試験実施者

坂本 晃子 , 藤部 理恵子